itami 伊丹市

PRESS RELEASE

令和８年１１月１０日

伊丹市立北中学校

小さな先生に「いのち」を学ぶ
～赤ちゃんとのふれあい体験～

少子化や核家族化が進む現代社会。生徒たちが乳幼児と触れ合う機会は減少し続けています。

こうした状況を受け、北中学校では赤ちゃんとその保護者を招き、実際に触れ合う体験学習を実施します。

＜開催概要＞

1. **日　　時**　令和８年１２月１６日（水）３・４校時（１０：５０～１２：４０）
   - ３校時：１組、２組、３組、５組
   - ４校時：４組、６組、７組



2. **会　　場**　伊丹市立北中学校　体育館

3. **内　　容**　赤ちゃん及びその保護者を講師として招き、実際に触れ合う。

4. **詳　　細**　各クラス４グループ（1 グループにつき赤ちゃんと保護者１組）に分かれ、赤ちゃんの抱っこ、ミルクやおやつをあげるなどの体験学習を行う。

目の前の小さないのちに触れることは、生徒たちに知識だけはない「生きた学び」を与えます。生命の尊さや家族の大切さなど、得ることのできる学びは様々ですが、これらの学びは、他者を思いやる心や他者に共感する力を育むことにも繋がります。北中学校は、生命を尊重する生徒の育成に力を入れて取り組んでいます。





＜問い合わせ先＞

伊丹市立北中学校　教頭　長谷 慎一

TEL：072-782-0410

Mail：t_kita@itami.ed.jp